

館山港が国土交通省「釣り文化振興モデル港」に指定 ～指定証の交付式が行われます～

館山港が、令和6年8月7日付けで関東地方初となる「釣り文化振興モデル港」として国土交通省から指定されました。

なお、指定証の交付式が、令和6年9月21日に“渚の駅”たてやまにおいて実施されますので、お知らせします。

1 「釣り文化振興モデル港」の指定

国土交通省では、地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾について、地元協議会等からの応募により、「釣り文化振興モデル港」として指定を進めており、このたび館山港が令和6年8月7日付けで関東地方初の指定を受けました。

※詳細は別紙1を参照

2 館山港の概要

(1) 運営協議会

本県が参画している「館山港UMIプロジェクト検討会」は、館山港の有する資源や特性を活用し、環境対策を通じた地域活性化に取り組むことを目的とし、有識者、国・県・市、NPO法人、市民団体、漁業協同組合をはじめとする関係団体、民間企業などで構成された組織です。

①港湾施設を活用した釣り文化振興などの「みなとアメニティの向上」

②アマモ場再生などの「ブルーカーボン生態系の保全・再生」

③みなとオアシスの活性化などによる「地域振興」

を、三位一体で進めることにより、新しい自律循環型の地域経済振興モデルを目指す取組を進めており、①に係る取組として、「館山港UMIプロジェクト検討会みなとアメニティワーキンググループ」から「釣り文化振興モデル港」に応募しました。

(2) 対象港湾施設

今回、本県が港湾施設管理者となっている多目的栈橋と館山港2号防波堤が、「釣り文化振興モデル港」の対象港湾施設として登録されました。

なお、館山港2号防波堤については、防波堤の海側と陸側で港湾施設管理者が分かれており、本県は海側の管理者となっております。



(3) 港の特徴

館山港は、昭和28年3月に港湾区域の許可を受け、本県が港湾管理者となり、平成12年5月に観光・レクリエーション分野での地域振興が期待されるとして特定地域振興重要港湾に指定されました。

また、観光・レクリエーションニーズの多様化に対応し、南房総の海の玄関口として、旅客船やクルーズ船等による観光客を迎え入れる多目的栈橋が整備され、平成22年より供用されています。

※詳細は別紙2を参照

3 指定証の交付式

(1) 日時

令和6年9月21日（土）午後1時～午後1時20分まで
「たてやま海まちフェスタ2024」の開催に合わせて実施

(2) 場所

“渚の駅” たてやま （千葉県館山市館山1564-1）
（晴天時）多目的栈橋基部
（雨天時）“渚の駅” たてやま 展望デッキ下スペース

(3) 出席予定者

千葉県県土整備部港湾課長（県土整備部長代理）、国土交通省関東地方整備局副局長、館山市長、（公財）日本釣振興会

(4) 内容

- ・国土交通省関東地方整備局副局長から館山市長に指定証の授与
- ・関係者による挨拶
- ・関係者による記念撮影

4 取材について

取材は事前申込制とします。

取材を希望する場合は、別紙3「取材申込要領」により、事前にメールでお申し込みください。

【締切】 令和6年9月19日（木）午後5時

【送付先】 国土交通省関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

【電話】 045-211-7420

【メール】 pa.ktr-kaikanka2@mlit.go.jp

【担当】 遠藤課長 （内線：5740）

佐々木課長補佐（内線：5741）

「釣り文化振興モデル港」の概要

国土交通省港湾局は、観光資源としての港湾における釣り施設や既存の防波堤等の利活用を進めており、地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、「釣り文化振興モデル港」として指定。

○モデル港の指定要件

- ・ 釣りによる地域創生・地域活性化を図るといった地域の意向があること。
- ・ 釣り客の需要が一定程度見込まれること。
- ・ 釣果が見込まれる防波堤等の港湾施設があること。
- ・ 地元関係者からなる協議会等が組織されていること。
- ・ 安全対策が十分にとられていること。

○モデル港の応募者

- ・ 地元関係者からなる協議会等

○モデル港への支援策

- ・ 直轄事務所による協議会等の効率的な運営に関する技術的な支援
- ・ 「(公財)日本釣振興会」による安全対策やマナー教育への支援
- ・ 「全国会議」における情報交換・交流
- ・ 国交省港湾局からの情報発信等による広報

【取り組みのイメージ】



防波堤開放

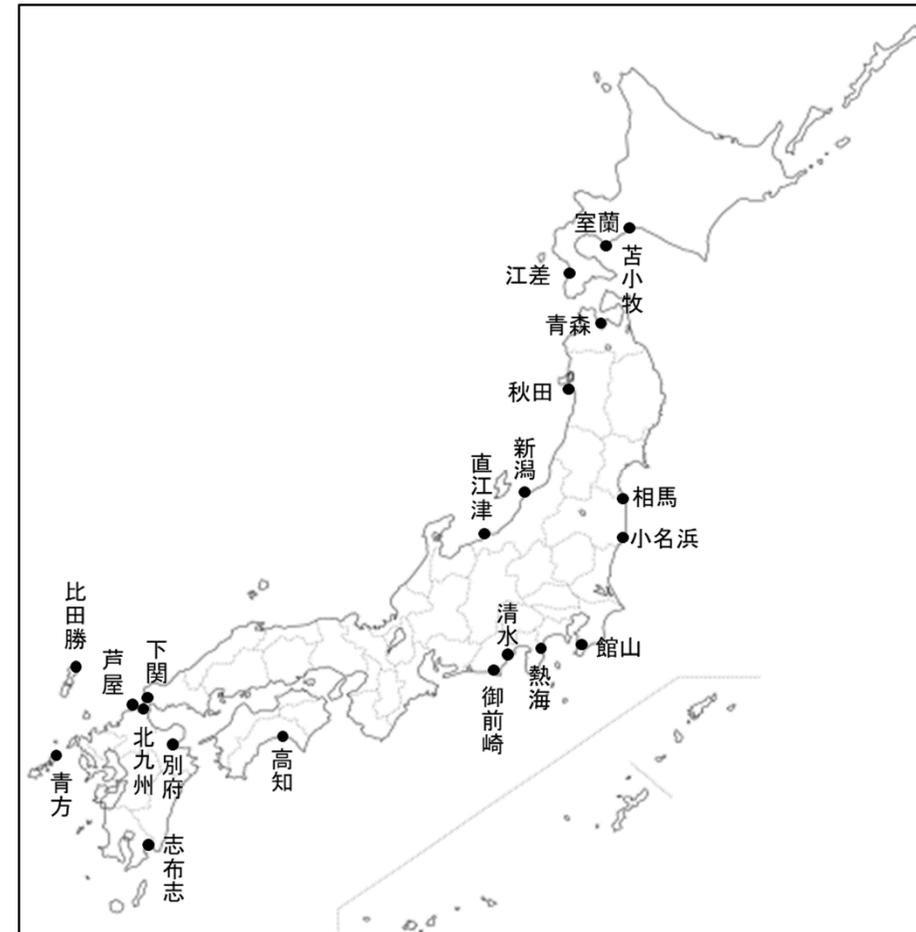


地域密着型の釣り教室



まちぐるみの誘致集客

「釣り文化振興モデル港」位置図



指定港数 21港
(令和6年8月7日時点)

【釣り文化振興モデル港】館山港

館山港 多目的の棧橋、2号防波堤



国土地理院地図(電子国土Web) (<https://maps.gsi.go.jp>) をもとに国土交通省作成

【基本情報】	
港湾名	館山港【地方港湾】
協議会等	館山港UMIプロジェクト検討会 みなとアメニティワーキンググループ
対象港湾施設(候補地)	多目的の棧橋、2号防波堤
港湾管理者	千葉県
指定日	令和6年8月7日

【主な取り組み】

安全対策や地域振興策等を関係機関と調整し、釣り文化振興を図る。

<多目的の棧橋>

- ◆ ルール・マナーの啓発
- ◆ 釣り大会・釣り教室等の実施(随時)

<2号防波堤>

- ◆ 釣り場としての活用方策について、具体的な検討及び関係機関との調整を行う。

釣り開放場所 (多目的の棧橋)



釣果 (2号防波堤)



釣り調査の様子 (令和5年5月27日・令和6年6月22日)

取材申込要領

取材をご希望の方は、下記内容を記載したメールにより、事前にお申し込み下さい。

メール送信期限：令和 6 年 9 月 1 9 日（木） 1 7 時まで

メール送信先：国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

メールアドレス：pa.ktr-kaikanka2@mlit.go.jp

< 記載内容 >

■報道機関名

■取材者

1) 代表者

2)

3)

■連絡先（代表者の連絡先）

（備考）

上記の「■連絡先（代表者の連絡先）」には、取材当日に連絡可能な連絡先を記載してください。

取材当日、変更などが生じた場合に、連絡します。